# DIME's INTEREST

## 防水性や安全性も備えた〝チャリ通派〟バッグの決定版！

ONE'S EYES.

ブラックのシンプルなボディーに走る1本の赤いラインがアクセント。カラーバリエーションでこのラインがホワイトのものもある。

ビジネス
タイプ

LG COMFORT
B4ファイル対応
Wファスナービジネス

ビジネスバッグタイプを希望ならコレ！　スーツケースや自転車のキャリーバーにも取り付けられるよう裏側にループが付いている。サイズ：45×32×16㎝　価格：1万5750円

今やすっかり定着した感のある自転車ブーム。健康のために通勤や通学を自転車に切り替えた、という人も多いはずだ。となると課題となってくるのがバッグ選び。自転車利用ならではの機能性が求められるが、いわゆるメッセンジャーバッグは大きさやデザインなどがビジネスシーンには適さないことが多々。かといって普通のビジネスバッグでは自転車に乗る際不便だし、リュックなどカジュアルすぎる、意外とこれが難しいもの。

そんなバッグ選びに頭を〝チャリ通派〟に朗報だ。ビジネスバッグブランドとして定評のあるLAGASHAの新レーベル「LG COMFORT」から、自転車通勤・通学をコンセプトにしたシリーズ「FORTE」が登場するのだ。上の写真のとおり、ビジネスシーンにもふさわしいシンプルさで、適度なカジュアルさも兼ね備えたLAGASHAならではの魅力的なデザインだ。

もちろん機能性も十分。雨や傷に強いナイロンを使い、止水ファスナーやリフレクター（反射材）など、自転車利用のシチュエーションが最大限考えられているほか、スマートフォンタブレット、PCなどを収納するポケットを標準装備。今日のビジネスマンのニーズにしっかりこたえている。

ビジネスタイプ、トートタイプにはペットボトルを入れ、傘入れなども備えているので、通常のビジネスバッグとしても重宝するだろう。ラインアップも豊富なので、ベストユースの1点がきっと見つかるはずだ。

問い合わせ先／トーリン　☎03・3661・5100　torin-bag.com
制作／フリート

『2666』
著／ロベルト・ボラーニョ
訳／野谷文昭、内田兆史、久野量一
6930円　白水社
www.hakusuisha.co.jp/

『野生の探偵たち』（上・下）
著／ロベルト・ボラーニョ
訳／柳原孝敦、松本健二
各2940円　白水社
www.hakusuisha.co.jp/

# 読む？トヨザキ社長の読めば!?読んどけや!!

豊崎由美　書評家、ライター。またの名を「トヨザキ社長」。最新刊は『ガタラクタ屋の終焉』（本の雑誌社）。

## 分厚さメガトン級!!800ページ超、2段組み。読み終えたら自慢ものの小説を買って買って！

DIME読者の皆さんにおかれましては、ボーナスで懐が温かくなるや否や、よりハイスペックな家電やスマホやアップル製品をお買い求めになられるんでしょうが、本も、買って、買って、買って！　だって、1ページ当たりたった約8円！　1週間はたっぷり楽しめるし、机に置かず持ち上げて読めば、脳味噌だけでなく二の腕まで鍛えられる一石二鳥本なんですから。47㎜という厚さに圧倒されるかもしれませんけど、構成はくっシンプルで読みやすいので、怖がらないで、装丁がカッコイイのでクリスマスプレゼントに最適ですし、正月休みのお供としてもひったり。読めば周囲の本好きを感心させられるという、自尊心満足度の高さも超ド級の1冊ですの。

全体が5部に分かれていて、1部の中心人物は、アルチンボルディという謎多きドイツ人作家を、オタク的熱意で研究している4人の批評家。続く2部の視点人物は、1部の最後でアルチンボルディの行方を追って、メキシコの砂漠の街サンタテレサにやってきた批評家たちの案内役として登場する、チリ人の哲学教授アマルフィターノ。3部の主人公は、ボクシングの試合を取材するためにサンタテレサにやってきたアフリカ系アメリカ人の記者フェイトで、彼はこの街でアマルフィターノの美しい娘ロサと知り合うことになります。実はサンタテレサでは200人以上も女性が殺されているという連続殺人事件が起きていて、4部ではその被害者たちのプロフィールや殺され方が淡々と描かれていくんです。5部は、ハンス・ライターという名の変わった性質の青年が、なぜアルチンボルディを名乗るに至ったかが、生い立ちや彼が従軍した第2次世界大戦の様子とともに描かれるビルドゥングスロマン（※1）になっており、ここでは、「なぜアルチンボルディがメキシコを目指したのか」という1部で提示された謎や、連続殺人事件のからくりが明かされもします。

大学で教える研究者たちの、パックステージを描いたアカデミック・ロマンス、中年の危機にさしかかった男（アマルフィターノ）が楽しみ方を振り返る夕メ男小説、アメリカ人が異文化体験をする、ヘミングウェイ的越境小説、凄惨な連続殺人の記録を列挙するノンフィクション・ノベル。作家と小説の生成を批評的視点で描いていくメタフィクション（※2）様々な読みごたえを備えたこの小説に感服されましたら、（はらわたリアリズムにぜひとも加わってほしいと誘われた）という魅惑的な文で知られる、やはり上下巻合わせて850ページ強のメガノベル『野生の探偵たち』も熱烈推薦。50歳の若さで亡くなったボラーニョの魅力に瞠目しまくってください。

編集部から

「これも読んどけば？」

### ビジネスで本当に必要な資質とは？

『採用基準　地頭より論理的思考力より大切なもの』
著／伊賀泰代
1575円　ダイヤモンド社
www.diamond.co.jp/book/

マッキンゼーで採用マネジャーを12年間務めた著者が、同社が求める人材＝これからの日本に必要な人材について、「リーダーシップ」に軸を置いて語る。

### *重税時代、にどう立ち向かうべきか

『サラリーマン家庭は*増税破産、する！』
著／勝川 太、八ツ井慶子
820円　角川書店
www.kadokawa.co.jp/book/

再来年に8％、15年には10％となる消費税。そもそもなぜ増税なのかという内容から、家計への負担増に備える方法までをファイナンシャルプランナーが伝授。

### 田舎暮らしを実現する方法がここに！

『シェルパ斉藤の八ヶ岳生活』
著／斉藤政喜
1575円　地球丸
www.chikyumaru.co.jp/

バックパッカーの著者が八ヶ岳で過ごした16年間を書いたエッセイ。田舎でログハウスを建て、太陽光など自然エネルギーを使って暮らす楽しさを綴る。

題字イラスト／しりあがり寿　本誌担当／高野杏里　※1 主人公が成長していく過程を描いた物語。※2 小説が虚構であることに作中で触れる作品。